

臨床研修センターだより



Vol.78 2020.8.31

●シーネ固定ハンズオンセミナー

7月15日の救急オープンセミナーで、整形外科医師、救急科医師の指導のもとシーネ固定ハンズオンセミナーが行われました。救急外来では外傷患者も多いため、初期研修もシーネ固定を行うケースが数多くあります。ペアになって上肢、下肢に実際にシーネ固定を行いながらポイントを学びました。

整形外科医からのアドバイス

- ・きつすぎず、ゆるすぎず巻く
- ・皮膚を保護する
- ・良肢位で固定する



●医学生向け 夏の病院見学プログラム

8月3日～14日、夏の病院見学プログラムを開催しました。7月下旬から新型コロナウイルス感染者が増加傾向となり、開催できるのか不安もありましたが無事に終了することができました。計4回行い、31名の学生さんの参加がありました。参加して下さった学生の皆様ありがとうございました。お申込みいただいた学生さんの中には大学からの見学自粛通達や県外移動をした際2週間の自宅待機期間を設ける必要があり実習開始に間に合わないなど、やむを得ずキャンセルとなった方もいました。新型コロナウイルス感染拡大状況によっては開催を見合わせる可能性もございますが現時点では冬期・春期も開催する予定ですので、ご都合が合えば改めてお申込みください。

ご協力いただいた初期研修医および臨床研修センタースタッフの先生方ありがとうございました。

ミニレクチャー（研修制度＋研修生活編）



2年次：松本 Dr.



2年次：神戸 Dr.



2年次：藤島 Dr.



2年次：上田 Dr.

初期研修医同行



ミニレクチャー（講義編）



脳内：藤原 Dr.



総内：金森 Dr.



血内：西久保 Dr.



循内：舛本 Dr.

●令和3年度採用初期臨床研修医選考試験

8月21日、令和3年度採用予定の初期臨床研修医の選考試験が行われました。今年は新型コロナウイルス感染防止のため筆記試験会場を2か所に分け、筆記試験・面接試験会場入室前の手指消毒、換気など様々な対策を実施しました。そしてコロナとは関係ありませんが例年行っていた英語の筆記試験をやめ、臨床筆記試験、面接試験の2点での選考となりました。いつもとは違う雰囲気での選考試験でしたが無事に終わることができました。受験生の皆様、試験問題作成や面接官を担当して下さった先生方、運営にご協力いただいた事務員の皆様、ありがとうございました。臨床研修センタースタッフ(センター長、副センター長含む)も7名が面接官を担当しました。3名の先生方に担当した感想や当日の様子、学生の印象を伺いましたのでご紹介します。

先日行われた初期研修医の選考のための面接に、臨床研修センタースタッフとして参加しました。今年はコロナ禍のためか、比較的近畿圏の大学からの受験生が多かったように感じました。しかしながら、いつもにもまして様々な経歴や活動実績をお持ちの方が多く、お話を伺う私達としては非常に興味深く拝聴いたしました。受験された皆様は、緊張しながらも自らの意見をしっかり述べられ、弊院で働きたいという意思を十分に受け取ることができました。個人的には多様性が担保された研修現場というのが好きですので、今回面接させていただいた受験生の皆様とは、どなたが来られても楽しく学習の支援をさせていただけると感じました。受験された皆様、大変な状況の中、お疲れ様でした。今後一緒させていただく日を楽しみにしています。

(臨床研修センタースタッフ/救急科 瀬尾 龍太郎)

初期臨床研修医採用試験の面接官をさせて戴くのは、今回で3回目になります。今年は、新型コロナ感染症の影響もあり、面接官同士も受験者の方とも「距離をとった」形で行いました。毎年緊張して面接に臨む受験者の方の緊張をほぐすべく、笑顔で質問することを心がけておりますが、マスク着用では笑顔は見えなかったかもしれません。。。with コロナ時代の面接のやり方を今後検討したいと思っております。面接を終えての感想は、多くの受験者の方が、当院での研修を希望される理由として、救急や総合内科で初期対応を学びつつ、各専門科での質の高い研修が魅力であると述べておられました。当院を選んで受験された皆さんの期待にきちんと応えているだろうかと自問させられました。来年度一緒に働く仲間として、どの方が当院に来てくれるのか、楽しみにしたいと思います。

(臨床研修センタースタッフ/総合内科 金森 真紀)

昨年初めて参加するまで、5分間の面接で受験者を採点することには少し抵抗がありました。しかしいざ現場で受験生の皆さんの姿を見つめていると、その所作や言葉遣い、佇まいの中にそれぞれの人生経験が透けて見えてくる感じが確かにして、これも一つの重要な評価なのかもしれないと思うようになりました。全国各地から様々な背景を持った方々が当院での研修を志望してくださっているのを見て、自分の初期研修を懐かしく思うとともに、すでに思い出せないことがほとんどであるという残酷な事実をじっくり噛みしめておりました。受験生の皆さん本当にお疲れ様でした。一緒に勤務できるのを心待ちにしております！

(臨床研修センタースタッフ/脳神経内科 藤原 悟)